

若い力

現在、太宰府西中学校には3名の教育実習生が来ています。6月13日から始まり30日までの3週間、本校で実習をします。今年来た3名はいずれも本校卒業生です。さらに個人的なことです、彼らが中学1,2年生の時、私が理科の授業をしていました。私の教員人生37年間で、自分が教えた生徒が教育実習に来て、一緒に過ごすのは初めてのことです。私一人有頂天になり、彼らを指導するというより、彼らとの学校生活を楽しんでいきます。

さて、教育実習生には「査定授業」というものがあります。これは教育実習における試験のようなもので、授業をして、先生方に評価をしてもらうものです。

今日は、保健体育と国語の査定授業がありました。結果から言うと、二人とも素敵な授業をしてくれました。もちろん、指導技術的な面ではまだまだ未熟な面もありますが、「教師として、しっかり授業準備をして、授業の中で生徒と共に学び、生徒を育てる」という気持ちに溢れた授業でした。二人の姿は、中学校の時から7年の時を経て、とても成長を感じるものでした。

今日、見た「若い力」は私にとって大変刺激となりました。「若さ」には情熱や可能性を感じます。怖いものしらずで突き進んだり、学んだことをすぐに吸収しできるようになったりもします。若者の適応能力は素晴らしい限りです。とても羨ましく思います。

「若い力」からエネルギーをもらい、私もまだまだ「熱く」教育活動に励みたいと思いました。

